

夏季休業中に、教職員研修と松窓会（卒業生同窓会）総会・懇親会を本校で行いました。

教職員研修

8月1日（木）に本校にて教職員研修を行いました。講師として「特定非営利活動法人みずき生活介護事業所はなみずき」の施設長である管道子さんと、「社会福祉法人ふらっと多機能型事業所ピーターパン」の管理者である佐藤靖夫さんをお招きし、講演をしていただきました。

菅さんには「地域の中に混ざり合って暮らす～地域の一員として～」というテーマで講演をしていただきました。「そもそも生活介護事業とは？」という基礎的なことから、はなみずきでの支援の実際の様子、はなみずきで大切にしておられる「地域の中で暮らす」ということについてお話をいただきました。年会費を払い、町内会に加入し、地域の公民館活動に積極的に参加しておられるとのことでした。また美化活動の取組として近隣の清掃活動に取り組んでおられるというお話を伺い、まさにテーマの通りの活動をしておられるということが分かりました。講演の中で普段の活動の様子を写真で紹介していただきましたが、利用者も職員の方もいきいきとした表情をしておられるのが印象に残りました。また、在学中に児童生徒がつけておくことの良い力として「強みや弱みを知る」「日常動作の自立（協力動作）」「一人で楽しめることを増やす」ということをお話されました。



佐藤さんには、「就労継続支援 A 型の働き方」というテーマで講演をしていただきました。福祉就労の種類や違いなどについて、基礎的な内容についても分かりやすく教えていただきました。就労継続支援 A 型事業所の仕組みについて、雇用契約を結ぶことや運営の難しさなど資料を示しながら、詳しく教えていただきました。「『どんなに障がいがあるかと働く喜びを感じ、役割を遂行することで人としてのかかわりの中で成長していくことを考え、責任感や自信につながる場であること』を大切に、ひとりひとりが自分の仕事・役割に『働く』『働いている』『自信』とプライドを持ち、社会の一員であることの実感することが出来る地域社会を目指す」という法人理念のもと、利用者の方に寄り添いながら、一人一人が責任をもち、達成感を感じられるような支援や取組をしておられることが分かりました。またスマホやタブレットの使い方について相談会を行ったり、小学校を訪問し、車いす体験を実施したりするなど地域との連携や貢献も大切にしておられることが分かりました。佐藤さんのお話から、ピーターパンの取組に情熱と自信をもっておられるということが伝わってきました。



普段なかなか聞くことができない思いや内容について聞くことができたり、福祉就労の仕組みなどについて改めて知ることができたりと非常に学びの多い研修となりました。この研修で学んだことを、今後の児童生徒への進路支援に生かしていきたいと思います。